



発行番号：第13A4657号

発行日：平成26年 4月17日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 枠組壁工法用接合金物を使用した接合部のせん断試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター

中央試験所長 黒木 勝

埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部のせん断試験						
依頼者	株式会社 カナイ						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：HN2-210 寸法：144.6×232.3×72.3mm, 厚さ2.3mm</p> <p>2. 接合具 加力床根太側：太めくぎ ZN65, 6本使用 支持床根太側：太めくぎ ZN65, 10本使用</p> <p>3. 使用枠組 梁：枠組壁工法構造用製材, JAS 甲種枠組材 2級, 樹種；スプルース, 寸法；38×235mm</p> <p>4. 試験体数 7体 (うち1体予備試験体) 参照：図-1及び図-2 (試験体)</p>						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」(社団法人 日本ツーバイフォー建築協会 編)の第V編「材料及び接合部の許容応力等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性(繰返し加力接合部試験によるもの)」に準じて行った。 試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体記号		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性 (K) kN/cm
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	
	HN2-210	0	10.8	2.4	18.4	19.0	45.0
		1	12.4	2.4	20.9	16.3	51.7
		2	11.0	2.8	19.0	24.0	39.3
		3	12.0	2.6	21.4	18.7	46.2
		4	13.2	1.9	22.3	19.3	69.5
		5	11.5	2.3	19.7	15.5	50.0
		6	12.4	2.3	21.7	17.3	53.9
	平均	12.1	2.4	20.8	18.5	51.8	
標準偏差 s		0.77	0.31	1.25	3.04	10.09	
5%下限値		10.3		17.9		—	
基準値		基準許容応力 6.9	—	基準終局耐力 17.9	—	基準剛性 51.8	
(注) 基準許容応力は各試験体ごとの試験許容応力の統計量から得られる信頼水準75%の95%下側許容限界(以下、「5%下限値」という。)に2/3を乗じた値であり、基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。 また、基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-1 (2/3Pmax時, 最大荷重時及び破壊状況) 図-4及び図-5 (荷重-変位曲線) 写真-1~写真-6 (破壊状況)							
試験期間	平成26年 3月28日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 主幹 上山 耕平 (主担当) 主任 庄司 秀雄						
試験場所	中央試験所						